



奉行11シリーズロゴデザイン マニュアル

はじめに

本「奉行11シリーズロゴデザイン マニュアル」は、奉行11シリーズのブランドを社内はもとより、お客様や社会全般に対して、正しく伝え、統一したイメージを作っていくために必要な視覚表現のデザインルールが記載されています。

本マニュアルを適正に活用し、奉行11シリーズのブランドイメージの継続的発信にお役立てください。

INDEX

1 奉行11ブランドロゴ P03

2 奉行11製品ロゴ P13

1

奉行11ブランドロゴ

1

奉行11 ブランドロゴ

バリエーション 1/2

[B]をメインロゴとして使用しますが
ツールの形状、スペースなど状況に応じて他のロゴを使用してください。

	メイン	メインネガティブ	サブ	サブネガティブ	モノクロ	モノクロネガティブ
A 奉行11シリーズ						
B 奉行11						
C 奉行i11						
D 奉行VERP11			/			
E 奉行J11						

1

奉行11 ブランドロゴ バリエーション 2/2

[B]をメインロゴとして使用しますが
ツールの形状、スペースなど状況に応じて他のロゴを使用してください。

	メイン	メインネガティブ	サブ	サブネガティブ	モノクロ	モノクロネガティブ
F 奉行11クラウド						
G 奉行i11NETWORK						
H 奉行i11新ERP						

奉行11 ブランドロゴ

カラー 1/4

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

例：奉行 i 11

カラー

カラー

スウォッチ名: 奉行11シンボル色

グラデーション 角度45°

スウォッチ名: 奉行11シンボル色の60%

モノクロ

C:100 M:30 Y:0 K:0 R:0 G:128 B:200 DIC:2591s PANTONE:2194 C	C:100 M:60 Y:0 K:0 R:9 G:92 B:168 DIC:641s PANTONE:2384 C	C:0 M:0 Y:0 K:100 R:0 G:0 B:0 DIC:582 PANTONE:Process Black C	M:30 Y:100 K:10 Y:5 R:219 G:177 B:0 R:255 G:254 B:247	M:30 Y:100 K:15 M:30 Y:100 K:10 R:211 G:170 B:0 R:219 G:177 B:0
--	--	--	--	--

※特色指定などは担当者にご相談ください

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、シンボルマークの色での使用のみ可能です。



※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの11部分の色と
近い場合、すべて白抜きで表現する

奉行11 ブランドロゴ

カラー 2/4

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

例：奉行11クラウド

カラー

モノクロ

スウォッチ名：奉行11シンボル色

C:100 M:30 Y:0 K:0 R:0 G:128 B:200 DIC:2591s PANTONE:2194 C	C:100 M:60 Y:0 K:0 R:9 G:92 B:168 DIC:641s PANTONE:2384 C	C:40 M:12 Y:0 K:0 R:172 G:199 B:233 DIC:44s PANTONE:277C	C:0 M:0 Y:0 K:100 R:0 G:0 B:0 DIC:582 PANTONE:Process Black C
--	--	---	--

スウォッチ名：奉行11シンボル色の60%

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、シンボルマークの色での使用のみ可能です。



※11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの11部分の色と
近い場合、すべて白抜きで表現する

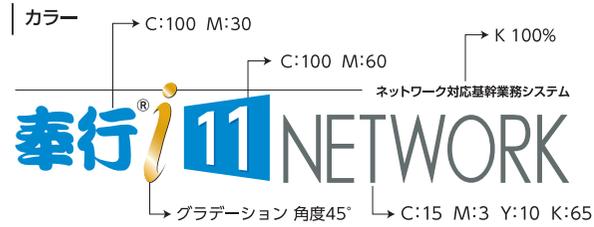
1

奉行11 ブランドロゴ

カラー 3/4

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

例：奉行 i 11NETWORK



スウォッチ名: 奉行11シンボル色

C:100 M:30 Y:0 K:0
R:0 G:128 B:200
DIC:2591s
PANTONE: 2194 C

C:100 M:60 Y:0 K:0
R:9 G:92 B:168
DIC:641s
PANTONE: 2384 C

C:15 M:3 Y:10 K:65
R:111 G:115 B:114
DIC:653s
PANTONE: 424 C

C:0 M:0 Y:0 K:100
R:0 G:0 B:0
DIC:582
PANTONE: Process Black C

M:30 Y:100 K:10 Y:5 M:30 Y:100 K:15 M:30 Y:100 K:10
R:219 G:177 B:0 R:255 G:254 B:247 R:211 G:170 B:0 R:219 G:177 B:0

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、シンボルマークの色での使用のみ可能です。



※i や11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、背景の色やトーンによって視認性は変わりますので、ロゴの視認性を考慮して使用してください。



背景色がロゴの11部分の色と近い場合、すべて白抜きで表現する

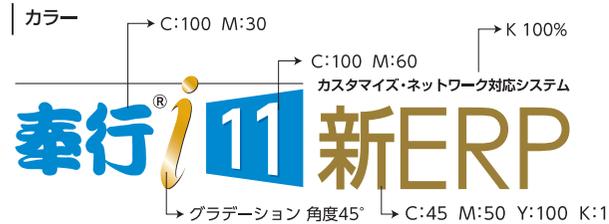
1

奉行11 ブランドロゴ

カラー 4/4

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

例：奉行 i 11 新ERP



スウォッチ名: 奉行11シンボル色

C:100 M:30 Y:0 K:0
R:0 G:128 B:200
DIC:2591s
PANTONE: 2194 C

C:100 M:60 Y:0 K:0
R:9 G:92 B:168
DIC:641s
PANTONE: 2384 C

C:45 M:50 Y:100 K:1
R:150 G:128 B:48
DIC:350s
PANTONE: 7768 C

C:0 M:0 Y:0 K:100
R:0 G:0 B:0
DIC:582
PANTONE: Process Black C

M:30 Y:100 K:10 Y:5
R:219 G:177 B:0 R:255 G:254 B:247
M:30 Y:100 K:15 M:30 Y:100 K:10
R:211 G:170 B:0 R:219 G:177 B:0
※特色指定などは担当者にご相談ください

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、シンボルマークの色での使用のみ可能です。



※i や11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの11部分の色と
近い場合、すべて白抜きで表現する

1

奉行11 ブランドロゴ

不可侵領域
(アイソレーション)

ロゴの視認性確保とイメージを損なわず保つために、どのロゴの周りにも
余白=不可侵領域(アイソレーション)を設けてください。

下記のように、「11マークの天地のサイズの半分の長さ」を不可侵領域(アイソレーション)として
設けることを基本とします。



1

奉行11 ブランドロゴ

最小サイズ

11マークの横幅 6mmを最小サイズとします。

下記よりも小さいサイズでの使用は視認性の確保が難しいため使用を禁止します。



1

奉行11 ブランドロゴ

使用禁止例

下記は一例です。
ブランドのイメージを損なう表現はできません。

例：奉行 i 11



字間を空けたり、ツメたりする。



変形させる。



フォントの変更、ウェイトの変更。



組み方、バランスの変更。



指定されていない色への変更。



濃度の変更。



ロゴの一部と認識できるほど近くに他の要素を加える。



複雑な背景の上に配置。

奉行11 ブランドロゴ

シンボルマークの使用

11の「シンボルマーク」のみを単体で利用することも可能です。

ただし、11の「シンボルマーク」と同じ媒体において、奉行11の「ロゴ」を必ず利用し、初めて見た人でも、シンボルマークが奉行11を指すことがわかるように利用すること。ロゴのイメージを損なわない範囲の使用が可能です。

例：奉行 i 11

ロゴ



例) カタログの
表紙にシンボルマークを使用
裏表紙でロゴを使用

2

奉行11製品ロゴ

2

奉行11

(製品ロゴ)

不可侵領域 (アイソレーション)

ロゴの視認性確保とイメージを損なわず保つために、どのロゴの周りにも
余白=不可侵領域(アイソレーション)を設けてください。
 上記のように、「11マークの天地のサイズの半分の長さ」を
 不可侵領域(アイソレーション)として設けることを基本とします。



2

奉行11

(製品ロゴ)

最小サイズ

11マークの横幅 6mmを最小サイズとします。
 下記よりも小さいサイズでの使用は視認性の確保が難しいため使用を禁止します。



奉行11

(製品ロゴ)

使用禁止例

下記は一例です。
ブランドのイメージを損なう表現はできません。

例：勘定奉行 i 11



字間を空けたり、ツメたりする。



変形させる。



フォントの変更、ウェイトの変更。



組み方、バランスの変更。



指定されていない色への変更。



濃度の変更。



ロゴの一部と認識できるほど近くに
他の要素を加える。



複雑な背景の上に配置。

奉行11

(製品ロゴ)

バリエーション

勘定奉行

[A]をメインロゴとして使用します。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				
J				

奉行11 (製品ロゴ) カラー

勘定奉行

下記で定めているカラー以外を使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

財務会計システム
勘定奉行[®]11

財務会計システム
勘定奉行[®]11

財務会計システム
勘定奉行[®]11

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

奉行11

(製品ロゴ)

バリエーション

勘定奉行
【個別原価管理編】

「A」をメインロゴとして使用します。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				

奉行11

(製品ロゴ)

カラー

勘定奉行
[個別原価管理編]

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

カラー

M:90 Y:75

グラデーション 角度45°

スウォッチ名:
個別原価管理編_remodelの60%

モノクロ

K 100%

財務会計システム
勘定奉行[®]i11
[個別原価管理編]

財務会計システム
勘定奉行[®]i11
[個別原価管理編]

財務会計システム
勘定奉行[®]i11
[個別原価管理編]

M:90 Y:75 K:34

M:30 Y:100 K:10 Y:5
R:219 G:177 B:0 R:255 G:254 B:247 M:30 Y:100 K:15 M:30 Y:100 K:10

スウォッチ名:個別原価管理編_remodel

C:0 M:90 Y:75 K:0 R:200 G:59 B:57 DIC:79s PANTONE:711 C	C:0 M:90 Y:75 K:34 R:151 G:42 B:41 DIC:305s PANTONE:7622 C	C:0 M:0 Y:0 K:100 R:0 G:0 B:0 DIC:582 PANTONE:Process Black C
--	---	--

※特色指定などは担当者にご相談ください

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

財務会計システム
勘定奉行[®]i11
[個別原価管理編]

財務会計システム
勘定奉行[®]i11
[個別原価管理編]

財務会計システム
勘定奉行[®]i11
[個別原価管理編]

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、背景の色やトーンによって視認性は変わりますので、ロゴの視認性を考慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、すべて白抜きで表現する。

奉行11

(製品ロゴ)

バリエーション

勘定奉行
[建設業編]

[A]をメインロゴとして使用します。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				

奉行11

(製品ロゴ)

カラー

勘定奉行
[建設業編]

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

カラー

C:55 M:100 Y:100 K:27 → グラデーション 角度45° → K 100%

財務会計システム
勘定奉行[®]11
[建設業編]

C:55 M:100 Y:100 K:57

スウォッチ名:
勘定奉行建設業編_remodelの60%

財務会計システム
勘定奉行[®]11
[建設業編]

モノクロ → K 100%

財務会計システム
勘定奉行[®]11
[建設業編]

スウォッチ名:勘定奉行建設業編_remodel

C:55 M:100 Y:100 K:27 R:98 G:32 B:36 DIC:2270s PANTONE:7610 C	C:55 M:100 Y:100 K:57 R:77 G:3 B:6 DIC:333s PANTONE:4975 C	C:0 M:0 Y:0 K:100 R:0 G:0 B:0 DIC:582 PANTONE:Process Black C
--	---	--

M:30 Y:100 K:10 Y:5
R:219 G:177 B:0 R:255 G:254 B:247 M:30 Y:100 K:15 M:30 Y:100 K:10
R:211 G:170 B:0 R:219 G:177 B:0

※特色指定などは担当者にご相談ください

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

財務会計システム
勘定奉行[®]11
[建設業編]

財務会計システム
勘定奉行[®]11
[建設業編]

財務会計システム
勘定奉行[®]11
[建設業編]

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、背景の色やトーンによって視認性は変わりますので、ロゴの視認性を考慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、すべて白抜きで表現する。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。



※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

奉行11

(製品ロゴ)

バリエーション

申告奉行
[法人税・地方税編]

[A]をメインロゴとして使用します。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]11 [法人税・地方税編]</p>
i	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [法人税・地方税編]</p>
VERP	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [法人税・地方税編]</p>	<p>法人税・地方税申告システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [法人税・地方税編]</p>

奉行11

(製品ロゴ)

カラー

申告奉行
[法人税・地方税編]

下記で定めているカラー以外を使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。



※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

奉行11

(製品ロゴ)

バリエーション

申告奉行
[内訳書・概況書編]

[A]をメインロゴとして使用します。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]11 [内訳書・概況書編]</p>
i	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]i11 [内訳書・概況書編]</p>
VERP	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [内訳書・概況書編]</p>	<p>内訳書・概況書作成システム</p> <p>申告奉行[®]VERP11 [内訳書・概況書編]</p>

奉行11

(製品ロゴ)

カラー

申告奉行
[内訳書・概況書編]

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

カラー

C:2 M:75 Y:20

グラデーション 角度45°

スウォッチ名:
申告奉行_内訳書・概況書編_remodel

内訳書・概況書作成システム
申告奉行[®]11
[内訳書・概況書編]

K 100%

C:4 M:94 Y:36

スウォッチ名:
申告奉行_内訳書・概況書編_remodelの60%

内訳書・概況書作成システム
申告奉行[®]11
[内訳書・概況書編]

モノクロ

K 100%

内訳書・概況書作成システム
申告奉行[®]11
[内訳書・概況書編]

スウォッチ名:
申告奉行_内訳書・概況書編_remodel

C:2 M:75 Y:20 K:0 R:203 G:96 B:134 DIC:2465s PANTONE: 7423 C	C:4 M:94 Y:36 K:0 R:193 G:40 B:98 DIC:2633s PANTONE: 198 C	C:0 M:0 Y:0 K:100 R:0 G:0 B:0 DIC:582 PANTONE: Process Black C	M:30 Y:100 K:10 R:219 G:177 B:0	Y:5 R:255 G:254 B:247	M:30 Y:100 K:15 R:211 G:170 B:0	M:30 Y:100 K:10 R:219 G:177 B:0
---	---	---	------------------------------------	--------------------------	------------------------------------	------------------------------------

※特色指定などは担当者にご相談ください

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。



※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

奉行11

(製品ロゴ)

バリエーション

商奉行

[A]をメインロゴとして使用します。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				
J				

奉行11

(製品ロゴ)

カラー

商奉行

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

販売管理システム
商奉行[®]i11

販売管理システム
商奉行[®]i11

販売管理システム
商奉行[®]i11

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

奉行11

(製品ロゴ)

バリエーション

蔵奉行

[A]をメインロゴとして使用します。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				
J				

奉行11

(製品ロゴ)

カラー

蔵奉行

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

仕入・在庫管理システム
蔵奉行[®]i11

仕入・在庫管理システム
蔵奉行[®]i11

仕入・在庫管理システム
蔵奉行[®]i11

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				
J				

奉行11

(製品ロゴ)
カラー

商蔵奉行

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

販売管理 仕入・在庫管理システム
商蔵奉行[®]i11

販売管理 仕入・在庫管理システム
商蔵奉行[®]i11

販売管理 仕入・在庫管理システム
商蔵奉行[®]i11

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

人事管理システム

人事奉行[®]i11

人事管理システム

人事奉行[®]i11

人事管理システム

人事奉行[®]i11

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				
J				

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。

給与計算システム
給与奉行[®]11

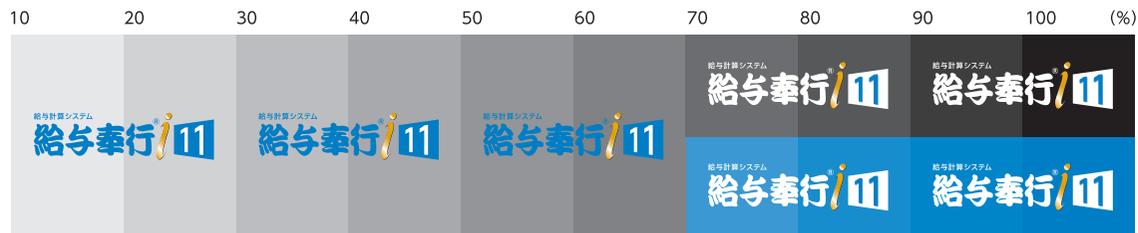
給与計算システム
給与奉行[®]11

給与計算システム
給与奉行[®]11

※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。



※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

	A メイン	B メインネガティブ	C モノクロ	D モノクロネガティブ
マスター				
i				
VERP				

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。



単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、製品色での使用のみ可能です。



※iや11に影のデザインを入れていますが、単色の場合表現ができないため、影のないモノクロロゴから単色を使用ください

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴの色と近い場合、
すべて白抜きで表現する。

■ 改訂履歴

版数	発行日	改定内容
第3版	2024年1月31日	奉行11ブランドロゴ®マーク追加、 ブランドガイドラインに合わせて改訂